

## はじめに

平成21年度は、8月に行われた総選挙によって政権が交代し、新たな農政の基本政策として「戸別所得補償制度」に関するモデル対策が平成22年度から始まることが打ち出されるなど、「農政の大転換」に向けて動き出した年でありました。また、県でも野菜を本県の戦略作物に位置づけその生産拡大を目指す「しがの水田野菜生産拡大推進事業」を平成22年度より実施することとなりました。

このような局面で普及指導員は常に最前線に立って農業者や関係者と直接向き合い、現場の生の声を聞きながら新しい施策の円滑な導入に対して支援するという重要な役割を果たしてきました。今回につきましても施策の成否は、これまで以上の普及指導員による支援活動にかかっていると考えています。

また、普及指導員による農業者への技術・経営指導や関係機関者や農業者との連携活動など、普及活動の原点ともいえる現場に密着した活動の蓄積は、本県農業の土台となる担い手の確保・育成支援や地域農業の活性化に大きく貢献し、今後もその役割は非常に重要と考えています。

本書は、本県の普及指導員が平成21年度に取り組んだ活動のうち、代表的なものを実績集として取りまとめたものです。担い手の育成や環境こだわり農業の推進はもちろん、産地づくりと滋賀ブランドの確立に向けた取り組みや農村地域の振興などを活動の柱として位置づけ、各地域で取り組んでまいりました。本書が農業者や関係機関の皆様方の営農活動や業務の一助となれば幸いです。

最後になりましたが、日頃より普及活動にご理解をいただいております農業者や関係機関の方々に厚くお礼申し上げますとともに、今後もより一層のご支援ご協力をお願いします。

平成22年3月

滋賀県農政水産部農業経営課  
課長 植田儀一郎